

1. はじめに

パソコンや携帯電話、デジタルテレビの普及により、現代社会にとって情報メディアは必要不可欠な技術である。教育機関でも情報メディアを学ぶ機会が増えてきた。しかし、既存の出版物では初めて情報メディアを学習する人にとって理解しにくいのが現状である。

そこで本研究では、初心者を対象とした学習支援テキスト制作し、それを基にユーザビリティを考えた。初めて情報メディアを受講する本校情報工学科3年生を想定してテキスト制作を試みた。本研究では画像処理ソフト Photoshop（以下 Photoshop）をメディア系ソフトとして選択した。

2. Photoshop の歴史

Adobe Systems 社の画像編集アプリケーションソフト。印刷用原稿などプロ向け画像編集ソフトの定番として幅広く利用されている。

画像に特殊効果を施したり編集したりすることが主な機能である。多彩な描画機能も備えており、多機能ぶりには定評がある。使い勝手に優れることなどから一般ユーザにも愛用者は多い。

3. テキスト制作

既存の出版物では勉強する対象が多く初心者にとって分りにくいものになっている。よって満足に学習できない。

さらに、本やテキストの値段も高く種類も多いためどれを購入すればいいかわからない。そこで、本テキストではその問題を解決するために既存のものとは違うアイデアを取り入れた。

3. 1 ツール BOX に限定した説明

ツール BOX には初歩的段階でよく使う機能がまとめられている。今回は初心者を対象とするため、ツール BOX の内容を詳しく学ぶことが出来れば大概のことは可能になると予想される。そこで、本テキストではツール BOX に限定し学習する。

3. 2 簡単な図形を使った説明

写真サンプルや美術作品の複雑な色や形をしたものを加工対象とすると、それらに惑わされ分りにくく機能の芯の部分まで学習できないことが多い。そこで、あらかじめ円形、四角形、

三角形を組み合わせた簡単な画像を使用し、加工していく。胆略的な画像を使うことにより難しいと思う先入観をなくし、作業工程をわかりやすく説明していく。

4. 制作工程図

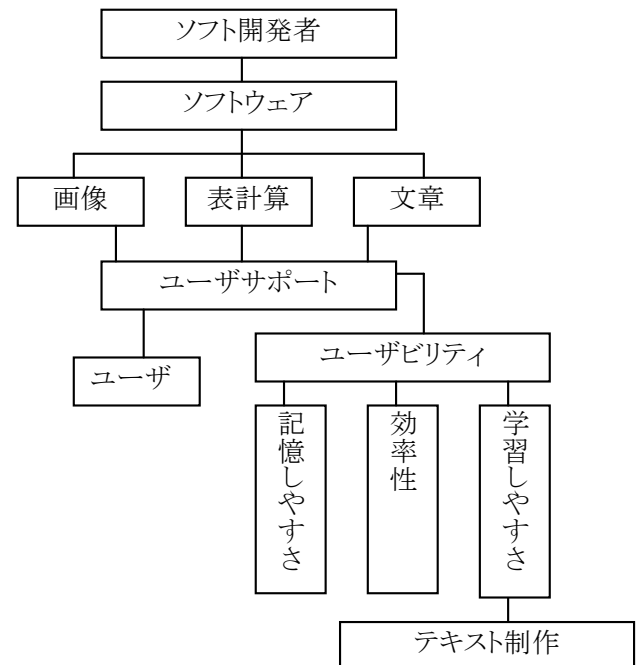


図1, テキスト制作工程の流れ

ユーザビリティとは一般的に使いやすさや使い勝手を意味するが、具体的定義は人それぞれである。そのなかでも、ユーザビリティの権威であるヤコブ・ニールセンが定義したものの中でも学習しやすさに重点を置いた。

5. おわりに

本研究では制作したテキストを元にユーザビリティについて考察した。今回は時間と容量の関係で、このテキストを使った感想や学習しやすさなどの結果が出せなかった。そのため、このテキストを元にアンケートをとりユーザビリティを明確に選出しなければならない。

参考文献

柏正巳『印刷&DTPプロを目指す実習 Photoshop』2001